

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	25220804	研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
研究課題名	ラセン構造からなるナノ空間の精密制御を基盤とする革新的キラル材料の創製	研究代表者 (所属・職) <small>(平成28年3月現在)</small>	八島 栄次 (名古屋大学・大学院工学研究科・教授)

【平成 28 年度 研究進捗評価結果】

評価		評価基準
○	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、キラルラセン化合物の創製を鍵に、世界をリードする独創的なキラルラセン化合物の化学を展開しており、非常に独創性の高い研究である。これまでに、キラルラセン空間を活用する不斉合成反応に成功し、さらに、溶出順序を自在に反転できる高速液体クロマト用カラムを創製するなど実用性見地から顕著な成果を上げた。</p> <p>その結果、当初計画以上の成果が得られつつあり、それらは国際的に著名な学術雑誌に掲載され、いずれも精緻で極めて高水準な論文であると評価できる。</p>		